## NO<sub>3</sub>-N 3 硝酸態窒素 (亜硝酸態窒素の混在が 0.06 ~ 1.5mg/L の場合)

発 色:無色→淡赤→赤

測定原理: 還元とナフチルエチレンジアミン法 測定範囲: 0.20 ~ 5.80 mg/L (ppm)

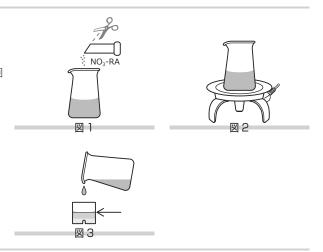
試薬: 硝酸測定用前処理剤(NO3-RA)(パック)、WAK-NO3 チューブ

特殊用具:ビーカー、加熱具一式 測定時間:チューブに吸い込み後5分

## 測定の前に

まず、混在している亜硝酸態窒素を前処理剤で除去します。

- 1. 検水を、ビーカーに30mL 採り、硝酸測定用前処理剤 (NO $_3$ -RA) を加え、5  $\sim$  6回 撹拌します。(図1)
- 2. 加熱し、2分間沸騰させた後、 $15\sim30^\circ$ まで冷まします。(図2) 冷却後、検水の量が減った場合は、純水を加えて30mL にしてください。
- 3. ビーカーの検水を専用カップに1.5mL(線まで)採ります。(図3)



セル:専用カップ

使用波長: 539 nm, 580 nm

## 測定方法

- 1.【NO<sub>3</sub>-N\_3】を押します。
- 2.【決定】を押し、測定画面に切替えます。
- 3. 前処理済みの検水の入った専用カップをセルボックスに入れ、【O調】を押します。 (図4)
- 4. パックテストのチューブの穴を検水の中に入れ、指を離し検水を一気に全量吸い込みます。同時に【測定】を押します。(図5)
- 5.4. のチューブを1分間に60往復、左右に転倒させて振り混ぜます。(図6)
- 6. すぐに専用カップにチューブ内の測定液を静かに戻し、セルボックスに再びセットし静置します。(図7)
- 7. 経過5分後に濃度が自動表示されます。



図6

## 注意

「NO3-N\_1 硝酸態窒素(亜硝酸態窒素が混在しない場合)」の項目をご参照ください。

図 7